

平成30年度  
第1回高松市国分寺地区地域審議会  
会 議 録

と き：平成30年7月30日（月）

と ころ：高松市国分寺会館 2階会議室

平成30年度 第1回高松市国分寺地区地域審議会 会 議 録
-------------------------------------

1 日時

平成30年7月30日(月) 午後2時開会 ・ 午後3時32分閉会

2 場所

高松市国分寺会館 2階会議室

3 出席委員 15人

会 長	土 井 信 幸	委 員	三 谷 幸 子
副会長	中 山 美恵子	委 員	吉 井 清
委 員	岡 重 範	委 員	上 田 克 己
委 員	岡 田 久 子	委 員	塩 崎 孝 博
委 員	落 合 恭仁子	委 員	末 澤 進
委 員	佐々木 正 明	委 員	中 村 良 夫
委 員	谷 上 仁 子	委 員	森 尚 子
委 員	豊 嶋 敦 子		

4 欠席委員 なし

5 行政関係者

市民政策局参事兼 地域政策部長	佐 藤 扶司子	地域振興課主事	松 野 慧 子
地域振興課長	植 田 敬 二	コミュニティ推進課長	藤 田 晃 三
地域振興課長補佐	鈴 木 克 則	市民政策局次長兼 くらし安全安心課長	香 西 昌 浩
地域振興課係長	宮 武 宏 行		

交通政策課長	西 吉 隆 典
交通政策課係長	佐 藤 一 樹
こども園運営課長	中 谷 厚 之
農林水産課長	十 河 土志夫
農林水産課長補佐	岡 中 英 秋
観光交流課長	黒 田 秀 幸
観光交流課長補佐	今 池 健 一
文化財課長補佐	山 本 英 之
都市整備局次長兼 都市計画課長	中 川 聡
都市計画課主幹	岡 田 光 信
道路整備課主幹	西 川 芳 樹
道路整備課長補佐	井 上 浩 和
道路整備課主査	小 西 一 典

河港課長	三 宅 秀 造
河港課長補佐	横 内 英 人
建築指導課長補佐	前 田 正 則
下水道施設課長	神 内 康 弘
下水道施設課主幹	乃 生 実 典
下水道施設課長補佐	野 口 幸 夫
教育局総務課長補佐	上 原 茂
教育局総務課係長	大 野 直 紀
香川県広域水道企業団 高松事務所 水道整備課長	末 澤 直 樹
香川県広域水道企業団 高松事務所 水道整備課長補佐	古 家 英 治

6 事務局

総合センター長	吉 井 隆 洋
副総合センター長	藤 澤 政 則

管理係長	川 上 賢 二
------	---------

7 オブザーバー

高松市議会議員	森 川 輝 男
---------	---------

高松市議会議員	西 岡 章 夫
---------	---------

8 傍聴者 1人

## 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 会議録署名委員の指名

### 3 議 事

#### (1) 報告事項

ア 建設計画に係る平成29年度事業の実施状況について

#### (2) 協議事項

ア 建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する  
意見に対する対応方針について

### 4 その他

### 5 閉 会

午後2時 開会

## 会議次第1 開会

○事務局（藤澤） ただいまから、平成30年度第1回高松市国分寺地区地域審議会を開会いたします。

委員の皆様方におかれましては何かと御多忙のところ、御出席をいただき、誠にありがとうございます。

議事に入りますまでの間、本地域審議会の事務局として私、藤澤が進行させていただきますので、よろしくお祈りを申し上げます。

本日の、委員の出席状況でございますが、本日は15名の委員中15名の出席となっており、本審議会協議第7条第4項の規定によりまして、委員の過半数を超えていますので、この会議は成立しておりますことを御報告いたします。

それでは、開会に当たりまして、土井会長より、御挨拶を申し上げます。

○土井会長 皆様方には暑い中また、台風の通過という大変な時に御参加くださりまして誠にありがとうございます。では、平成30年度第1回地域審議会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、会議に御出席いただきまして誠にありがとうございます。また、本日、御出席いただきました、市議会議員、市職員の皆様には、お忙しい中を御出席いただき深く感謝申し上げます。

本日の審議会におきましては「建設計画に係る29年度事業の実施状況」の報告事項と、先般、5月に意見の取りまとめをして提出しました「建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業」に関する意見についての対応方針につきまして、協議をお願いすることとしておりますので、どうか、各委員の皆様には、これらの内容について、忌憚ない御意見を賜りますようお願い申し上げますとともに、市各担当局担当課においては十分に御検討をいただき、より良い方向に向けた対応をとっていただきますようお願い申し上げます。開会の御挨拶といたします。

○事務局（藤澤） ありがとうございます。それでは、議事に入ります前に、会議の進行等についてお祈りをいたしておきます。

合併協議において、本地域審議会の会議は公開することとなっており、傍聴につきましては、傍聴内規を定めておりまして、本日の会議につきましてもこの内規に沿って、傍聴をいただい

ておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本地域審議会の会議につきましては、会議録を作成することとなりますので、御発言をされる場合には、まず、議長の許可を得た後、誠に恐れ入りますが、お手元のマイクのスイッチを押していただき、お名前を先に申し出ていただいてから、御発言をされますようお願いを申し上げます。

それでは、以後の進行につきましては、本審議会協議第7条第3項の規定により、土井会長に、会議の議長をお願いいたします。

## **会議次第2 会議録署名委員の指名**

○議長（土井会長） それでは、これ以後の議事について、議長を務めさせていただきますので、御協力をよろしくお願いいたします。

まず、会議録署名委員の指名をさせていただきたいと存じます。

会議録署名委員には、本審議会の名簿順にお願いしております。本日は、落合恭仁子委員、佐々木正明委員をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

## **会議次第3 議事**

○議長（土井会長） それでは、これより議事に移りたいと存じます。

本日の議事でございますが、次第のとおり報告事項1件、協議事項1件の案件がございます。まず、会議次第3議事(1)の報告事項から、順次担当課より説明をいただき、説明終了後に、御質問と御意見をお受けしたいと思います。

なお、時間の関係もございますので御質問と答弁につきましては、簡潔をお願いいたします。

それでは、報告事項アの建設計画に係る平成29年度事業の実施状況につきまして、地域振興課からお願いいたします。

○植田地域振興課長 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○植田地域振興課長 地域振興課長の植田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

恐れ入りますが、私以降、職員の説明に当たりましては、座って説明をさせていただきますので、御了承賜りたいと存じます。

それでは、報告事項アの建設計画に係る平成29年度事業の実施状況につきまして、御説明させていただきます。

お手元に、A3サイズの資料の内、資料1の「建設計画に係る平成29年度事業の実施状況調書（国分寺地区のみの事業）」をお願いいたします。

この資料でございますが、一番左側の「まちづくりの基本目標」として、「連帯のまちづくり」から「参加のまちづくり」まで、5つの基本目標ごとに、「施策の方向」、「施策項目」、「事業名」、「29年度事業の実施状況」を記載し、「29年度の予算現額」と「29年度の決算額」を対比させるとともに、30年度へ繰越した事業につきましては、その「額」と「事業の概要」を記載しております。

時間の関係もございますので、逐一の説明は省略させていただき、主な事業の「29年度決算額」について申し上げます。

連帯のまちづくりでは、「精神障害者福祉の推進」として、精神障害者共同作業所「おへんろの駅こくぶ」の運営助成に518万円、「特別保育」として、特別支援保育・地域子育て推進事業などに489万6千円、「人権教育の推進」として、みんなで人権を考える会2017・市民講座・研修会の開催などに473万7千円でございます。

次に、循環のまちづくりでは、「水道管網の整備」として、老朽石綿セメント管の更新、老朽ビニル管の更新及び配水管の布設に、合わせて9,131万5千円、「中継ポンプ場管理費」として、中継ポンプ場運転管理に413万8千円、「合併処理浄化槽設置整備事業」として、65基の合併処理浄化槽設置助成に、1,636万3千円でございます。

次に、連携のまちづくりでは、「消防車輛の整備」として、国分寺分団第1部の消防ポンプ車購入に1,160万8千円、「学校施設の整備」として、国分寺南部小中棟校舎外壁改修工事及び国分寺中屋内運動場非構造部材等改修工事に1億1,076万1千円、「特別史跡 讃岐国分寺跡・史跡 国分 尼寺跡の保存整備」として、史跡地の公有化並びに史跡公園管理・植栽等に1,347万3千円、「史跡まつりの開催・讃岐国分寺跡資料館の運営・充実」として、企画展・こども力餅大会の開催、常設展示の充実など、合わせて976万9千円、「音の祭りの開催」として、国分寺ホールにおいて地元和太鼓団体とのコラボレーションも行うコンサートの開催に190万円でございます。

資料1の2枚目をお願いいたします。

次に、交流のまちづくりでは、「特産品の情報発信イベントの開催」として、グリーンフェスタ国分寺の開催補助に246万円、「松くい虫の防除」に53万1千円、「国分寺町まつり・冬のまつりの開催」として合わせて917万7千円、「市道等の整備」として、国分西下所線の改良工事、一里山線の測量として合わせて602万4千円、「国分寺町コミュニティバス運

行事業」として、運行事業補助に876万9千円、「JR端岡駅周辺整備事業」として、JR端岡駅南側の道路概略設計に175万2千円でございます。

以上、連帯のまちづくりから、参加のまちづくりまでの決算額を合わせまして、総額で、3億443万3千円を29年度において執行したものでございます。

また、右端の「30年度への繰越額」の欄に記入のある事業につきましては、29年度内の事業の完了に向けて、鋭意、取り組んでまいりましたが、結果として、年度を繰り越して、事業の実施を図る事情が生じ、予算を30年度に繰り越したものでございまして、その総額は、1億8,414万4千円でございます。

以上で、平成29年度事業の実施状況の説明を終わらせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（土井会長） ありがとうございます。以上で、建設計画に係る平成29年度事業の実施状況（地区のみの事業）につきまして説明いただきましたが、ただいまの報告事項アの説明に関して、御質問、御意見等ございましたら、御発言を願います。

○議長（土井会長） 質問はございませんか。

特に無いようでございますので、次の会議次第3の議事（2）協議事項アの建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する意見に対する対応方針につきまして、地域振興課より全体の説明をいただき、その後、対応調書に基づきまして順次、各担当課から説明をよろしく願いいたします。

○植田地域振興課長 はい。それでは、協議事項アの建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する意見に対する対応方針について、御説明させていただきます。

お手元の資料2をお願いします。この対応調書につきましては、本年4月18日に意見の取りまとめをお願いし、5月28日付で御提出いただきました「建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する意見」に対する対応方針を整理したものでございます。

それでは、項目順に従いまして、それぞれ所管しております担当課から、説明させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○西川道路整備課主幹 道路整備課西川でございます。よろしく願いいたします。項目番号1番 通学路等の歩道整備についてでございます。

県道高松善通寺線と県道綾川国分寺線の交差点改良につきまして、道路管理者であります香川県に確認したところ、今年度、測量、設計のための予算を確保しており、順次、進めてまいると伺っております。

本交差点の改良は、交通安全上、有効なものと考えられますことから、引き続き、早期整備につきまして、香川県へ要望してまいりたいと存じます。

なお、交差点改良には新たな用地が必要となりますことから、地域におきましても、土地所有者など地元関係者の御協力をいただきますようお願い申し上げます。

○議長（土井会長） はい。ありがとうございました。続いて本津川の河川改修についてお願いいたします。

○三宅河港課長 河港課の三宅でございます。項目番号2番 本津川の河川改修についてでございます。

本津川につきましては、河川の治水安全度を高めるため、県において、下流側から順次改修整備を進めているところであり、市としましても、早期に改修が進められるよう、事業進捗の要望をしているところでございます。

また、護岸の雑木につきましては、早速、県に伝え、河川管理・巡視の際に確認するようお願いしております。なお、早急な対応が必要な具体的な場所がございましたら、市を通じて、あるいは直接県に御相談くださいますようお願いいたします。

○議長（土井会長） はい。ありがとうございました。 続きまして生活道路についてお願いいたします。

○前田建築指導課長補佐 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○前田建築指導課長補佐 建築指導課の前田でございます。項目番号3番 生活道路についてでございます。

建築指導課の案件といたしましては、御指摘の住居系開発行為の接道要件の見直しにつきましては、近年、用途白地地域において、急激な宅地開発が進み、大雨時の水路の溢水や狭い道路における交通安全の低下など、地域住環境の悪化や行政負担の増加が顕在化している状況も踏まえ、立地適正化計画に掲げる施策の方針の一つである「適正な土地利用のコントロール」という趣旨に沿って、居住誘導区域外でのこれ以上の住居系開発行為を一定程度抑制し、区域外における農地の保全や地域住環境を維持するとともに区域内への居住誘導を図ることを目的として、居住誘導区域外を対象として実施する予定としております。

また、道路整備課といたしましては、一方で、御指摘の災害発生時に消火・救助車両の通行が懸念されるなど、幅員の狭い市道につきましては、生活道路整備事業による拡幅が可能です。

採択要件もございますが、地元関係者の御協力がまず必要でありますことから、地元で拡幅につきまして協議をしていただいた上で、市に対し整備の相談をいただきたいと存じます。

その後、生活道路整備事業の審議会の採択を経た後、優先度も考慮の上、地元関係者の同意書が得られた路線より、順次整備に努めてまいりたいと存じます。

なお、用途地域内の土地買収単価につきましては、計画幅員が5 m以上の場合、既設道路の中心線から2 mを超える部分について、宅地では相続税路線価の60%と設定するなど、一定の配慮をしたものとなっております。

○議長（土井会長） はい。ありがとうございました。 続きまして国分寺中学校第1体育館の長寿命化計画についてお願いします。

○上原教育局総務課長補佐 教育局総務課の上原でございます。 よろしく申し上げます。 項目番号4番 国分寺中学校第1体育館の長寿命化計画についてでございます。

国分寺中学校第1体育館におきましては、築54年を経過しておりますことから、老朽化を総合的に判断する耐力度調査を行いました。

その劣化状況等の結果を踏まえ、今後、中規模改修を計画的に進めてまいりたいと存じます。

○議長（土井会長） はい。ありがとうございました。 続きましてJR端岡駅南側周辺整備事業についてお願いします。

○西吉交通政策課長 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○西吉交通政策課長 交通政策課西吉でございます。 よろしくお願いたします。 項目番号5番 JR端岡駅南側周辺整備事業についてでございます。

JR端岡駅南口の周辺整備事業を推進するため、昨年6月に設置された、「JR端岡駅南口整備推進協議会」から、市主体による整備の要望を受け、昨年度事業として、国道から駅南側へのアクセス道路のルートや駅前広場の概要検討に取り組みました。

一方、昨年8月にJR四国において「四国における鉄道ネットワークの在り方に関する懇談会Ⅱ」を設置し、鉄道ネットワークを維持することなどに関して議論が交わされており、JR四国としても、新たな取組を推進していく動きが出始めています。

本市としては、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えの下、持続可能な公共交通ネ

ネットワークの構築を目指し、鉄道を基軸としたバス路線再編を進めているところであり、JR 端岡駅を本市の西部南地域におけるまちづくりの拠点とするため、駅舎機能と駅前広場・国道からのアクセス道路等を全体パッケージとして検討することとし、JR 四国とも連携を図り、端岡駅南口整備に係る基本構想を本年度策定することとしたものでございます。

また、基本構想に続き、基本計画、詳細設計の順に検討を深めることを想定しており、アクセス道路の安全性確保につきましては、今後策定する基本構想に基づき交通量を推計し、適正な道路構造について検討してまいりたいと存じます。

○議長（土井会長） はい。ありがとうございました。続きまして道路幅拡張等についてお願いします。

○西川道路整備課主幹 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○西川道路整備課主幹 項目番号6番 道路幅拡張等についてでございます。

生活道路の整備に当たっては「高松市生活道路整備事業事務処理要綱」第4条に採択要件が定められており、原則、計画区間に沿う既設開水路は計画幅員に含めないとされております。ただし、既存家屋が支障となるなど、ほかに拡張できる方法が無い場合については、当該水路の管理者などの同意を得ることや、費用負担について協議が整っていることなどを条件として、蓋かけ等を採用することができる場合もありますことから、事前に現地を確認し、整備方法等について協議をさせていただきたいと存じます。その後、生活道路整備事業の審議会の採択を経た後、優先度も考慮の上、地元関係者の同意書が得られた路線より、順次整備に努めてまいりたいと存じます。

また、カーブミラー等の道路の危険個所の改良要望につきましては、現地を確認の上、適切に対応してまいりたいと存じます。

なお、中筋奥谷線の県道33号線から北側約50m区間につきましては、計画幅員5mで短期整備路線として既に採択されており、今後、整備を進めてまいりたいと存じます。

○議長（土井会長） はい。ありがとうございました。

ただいま、項目番号1から6までの説明が終わりました、説明に関する質問等は、説明をいただいた項目順に行います。

まず、項目番号1、「通学路等の歩道整備について」、御質問、御意見等がありましたら、挙手をお願いいたします。

○岡委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。岡委員。

○岡委員 岡です。いろいろと進めていただいておりますこと、感謝申し上げます。

まずは、用地買収から始まると思いますが、計画がある程度固まりましたら、地元地権者の同意について協力したいと思いますのでよろしく願いいたします。

○西川道路整備課主幹 議長。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○西川道路整備課主幹 ありがとうございます。その旨を香川県の方に伝えてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

○議長（土井会長） はい、ほかにはございませんか。無いようですので、続きまして本津川の河川改修について、御質問がございましたらお願いします。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 確認しますが、護岸の雑木ということですが、これはどこの場所か具体的に教えて欲しいです。

○議長（土井会長） はい。回答をお願いします。

○三宅河港課長 河港課の三宅でございます。今回このお話をいただきまして、現地の情報を確認いたしました個所が、4箇所ございます。どことは具体的には申しあげにくいですが、既にいただいた情報以外にもございましたら、市の河港課又は県の土木事務所にお伝えいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 末澤です。これはありがたいことですが、その地域が該当しているかどうかを確認したかったんですが、どうですか。

○議長（土井会長） 本津川に関してお願いします。

○三宅河港課長 河港課の三宅です。具体の場所について確認は難しいですが、県の方をお願いをしたということでございます。

○末澤委員 わかりました。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。

○岡委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。岡委員。

○岡委員 岡です。私が質問しました雑木につきましては、上流区間での話ではなくて、マルナカより下流の区間でのことで、暫定区間で掘削工事をしているところに大きな木が生えていて、ゴミが付くことで堤防が決壊する恐れがあるということをお願いしたわけです。それはそれで対応をしていただけたらいいと思います。それと鬼無地区の残工事を見たところ、まだ橋梁が一つ残っています。用地買収がどこまで進んでいるか分かりませんが、延長が400m前後かと思っています。この現場が完了したら、県民プールのところまで来ます。鬼無町との境界から国分寺マルナカまでの橋梁は全て完成しておりまして、河川断面は暫定工事で完了しております。

鬼無地区が後どのくらいで工事が完了するのかを私は聞きたかったのです。だいたい何年かかるのか、目安としてどれ位か言っていただけたら、地元も安心できるのかなと思ひまして質問したわけです。

先般の大雨時の7月8日午前1時15分に福家付近の本津川が氾濫危険水位に達し、かつ増水する見込みがあるため避難勧告を行いました。この時の水位を示しますと、水防団待機水位で0.5m、氾濫注意水位で0.9m、避難判断水位0.95m、氾濫危険水位1.2m、計画高水位4.08mになっており、この場所は河川改修が出来ており、1.2mを超えると下流で氾濫する可能性があるということだと思っています。このような河川状況であったなら、毎年避難勧告が出ます。最終的には河川改修しかないとは思いますが、これには莫大な事業費と年月が掛かります。そこで、狭窄箇所を探し出し応急的に何らかの対応が出来ないか検討をお願いしたいと考えております。

先般の県のシンポジウムで、地球温暖化の影響は分かりませんが、時間雨量50mm以上降雨の回数が10年前より21.3回増えている。右肩上がり年々増加しているとのこと。このような自然災害に対応するためにも、是非とも少しでも余裕ができるよう、部分的な改修でもお願いをしたいと思ひ提案をしたわけです。どうぞよろしく申し上げます。

○議長（土井会長） 分かりましたでしょうか。

○三宅河港課長 河港課の三宅です。河川改修の現在の状況でございますが、下流側から順番に改修をしておりますが、1,200mの区間が平成30年度において完了する予定でございます。事業は継続しながら進められておりますが、引き続きの状況といたしましては、改修が完了したところから上流側へ向けた用地取得なども進めていって、順次河川の改修を行っていくということです。

改修に向けては、用地が必要になってまいります。河川の沿線の関係者の御協力をいただい

て、事業が進められることを願っている状況です。

それと、暫定的な取り組みが出来ないかとの御提案がありました。事業主体は県となりますので、県にはそのような御意見がありましたとお伝えしてまいります。

○岡委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。岡委員。

○岡委員 分かりました。そのように検討していただいたら助かります。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（土井会長） ほかにございませんか。無いようですので、続きまして生活道路について御質問をお受けいたします。

○議長（土井会長） 生活道路について御意見等ございませんか。無いようですので、続きまして、中学校第1体育館の長寿命化計画について質問をお受けいたします。

○議長（土井会長） 質問はございませんか。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 建築年から54年を経過しており、長寿命化で対応するとのことですが、公共物の中学校・小学校などを壊して新しく建て直すという場合は、年限があるんですか。お願いします。

○上原教育局総務課長補佐 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○上原教育局総務課長補佐 教育局総務課の上原でございます。建物の対応年数としましては、鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造につきましては、47年という取り決めがございます。

これまで高松市の中で、改築・建て替え等を行った建物の概ねの平均年数は、約51年で実施をしております。このようなことを踏まえまして、高松市学校施設整備指針を、昨年度に高松市学校施設長寿命化計画を策定しております。

まず指針の中で、50年を超えているものについて耐力度調査を行うようにしております。国分寺中学校第1体育館につきましても調査を行いました。耐力度は点数化されておまして、健全であるものは長寿命化の改修を行い、点数が低いものに関しましては、改築を行うということを示しております。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 参考のためにお聞きしますが、最終的に改築しなければならないという年限はあるんですか。

○議長（土井会長） はい。答弁をお願いします。

○上原教育局総務課長補佐 指針で今後、概ね80年程度として、改築等を進める予定としております。

○末澤委員 はい分かりました。

○議長（土井会長） ほかにございませんか。無いようですので、続きましてJR端岡駅南側周辺整備事業につきまして質問をお受けいたします。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 末澤です。市が主体となって事業を行うということですが、今年の3月に地域の自治会長が変わっております。新しい自治会長に対して、そのような話はしたのでしょうか。

○中川都市整備局次長 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。JR端岡駅南口整備推進協議会は地元の方で作られまして、先程の対応方針にもありましたように、昨年6月にそちらから要望を頂戴したところでございます。そのメンバーでございます自治会長さんが変更されたことにつきまして、地元が作られた会でございますので、市から直接説明をしたとかは、その後においてはございません。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 そうすると、話は一切していないということですね。それと道路の整備ですが、消防の屯所から南の道には白線を超えてバベの木が生い茂っていたり、これは通行に支障が出ているんです。なお且つこの計画されていると思われる道路に民家があります。この民家の内の4分の1は対象になると思われます。そうすると当然のことながら、合併特例債が今12億4,480万円ありますので、私はこれをできるだけ活用して、今の内にできるように進めてもらいたいんです。見通しとしてはどうなんですか。これは南北コミュニティの両会長には説明しているんですか。それともしていないんですか。

○中川都市整備局次長 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○中川都市整備局次長 平成29年度の事業として、28年度の繰越予算を活用して、駅南側へのアクセス道路のルート検討などを行いました。その検討結果の成果につきましては、市の方で持っております。ただしこれは、駅構内、駅舎との関係が非常に重要であります。交通政策課で駅舎の機能、広場、アクセス道路。こうしたもの全体をパッケージとしてしっかりと確立していこうという方針になりまして、現在はアクセス道路の概略設計は参考資料という位置づけであります。自治会長さんとか、対外的にはまだ公表は出来ておりません。したがって、委員さんの言われる個々の道路のどの場所だというのは、現状まだ分からない状態だということになります。

市といたしましては、駅構内の改良共々を含めて、どのルートの費用対効果が高いか等調査はいたしておりますが、駅構内の検討を踏まえながら、トータル的な最終判断をしていきたいと考えております。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 言われることは分かりますが、金額がきちんと出ているわけですから、やはり概略的な話は両コミュニティ会長にはすべきだと思いますがどうでしょうか。難しいですか。

○西吉交通政策課長 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○西吉交通政策課長 交通政策課西吉でございます。先ほど申しあげましたとおり、JR四国で昨年度新たな協議会が立ち上がっております。鉄道ネットワークを維持していこうと立ち上げたものですが、JR四国が今までの流れと変わってきております。その中で、高松市と協力しながら進めていきたいとしている中の一つが、端岡駅の整備をしていこうということになってきております。

駅南側のアクセス道路であり、駅前広場であるとか、バリアフリー化出来ていない駅舎であるとか、これを一つのパッケージとして進めていきたいと思っております。その基本構想につきまして、この6月市議会で補正予算を計上し、通りましたので、今年度にその基本構想を策定してまいりたいと考えております。

ある程度基本構想が見えて、御説明できる段階となりましたら、地域の方には方向性ということで御説明をしていきたいと考えているところでございます。

○議長（土井会長） はい。よろしいですか。ほかにございませんか。

○岡委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。岡委員。

○岡委員 これは都市計画事業で行うと捉えておりますが、都市計画決定はいつ頃行う予定でしょうか。

○議長（土井会長） はい。説明をお願いします。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。今、交通政策課の西吉課長からも説明がありましたように、基本構想で駅側ともリンクを図りながら、地元の方々への御説明。そうしたものを経た後に、しっかりと事業として確定した段階で、都市計画決定等は考えていきたいと考えております。

○岡委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。岡委員。

○岡委員 技術的に本当に必要なことをきちんと決めて、動いた方が私はいいと思います。よろしくをお願いします。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。ありがとうございます。そうした部分を含めてしっかりと検討させていただきたいと思います。

○豊嶋委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。豊嶋委員。

○豊嶋委員 豊嶋です。まったく動きが無かった南側が動き出したのは非常に良いことだとは思いますが、JR四国さんももう少し早く動いてくれたら良かったのにとすごく思います。

JRさんの考え方が変わってきて、駅舎機能その他周辺道路等を全体パッケージとして検討していくということですが、北側は一旦、開発は終わったということであったと思いますが、JRさんの考え方が変わり、駅舎等を再度検討するのであれば、北側ももう少し検討する余地はあるのでしょうか。今後は駅舎と南側だけとなるのでしょうか。全体をパッケージとして見るのであれば、北も南も全てを見直していただければいいと思いますが。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。確かに北口につきましては、県道から入ってきて西側に回転できる広場を設けた状態です。北口につきましては、県道からの進入路としてのルートが変わる要素は無いかと思います。そうしてJRの敷地の中に入って行って北側に空間があり、駅舎建物といった形になっていると思います。イメージ的には大きく変わることは無いとは思いますが、そういう中で、北側を検討する部分も現れてくるようであれば、そこは検討することになってくると思われまます。ちょっと現在では分からないところではあり

ますが、そういうことだと思います。

○議長（土井会長） よろしいですか。ほかに無いでしょうか。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 ここにちゃんとJR端岡駅南側周辺と書いてあるんですよ。南側周辺を考えるべきであって、また分からない蒸し返しの話までして、JRの答えが出たらそのようなことも考えられるというふうに捉えるんですか。教えてください。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。言われますように、メインはアクセス道路の無い駅の南側にターゲットがある状態かとは思いますが。

○議長（土井会長） よろしいですか。ほかに無いですか。無いようですので、続きまして道路幅拡張等についてお願いします。

○上田委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。上田委員。

○上田委員 上田です。対応方針の中に、蓋かけ等を採用することができる場合があることから、協議を始めさせていただきたいと思っています。担当を決めていただきましたら、私を含めて協議をしたいと思っています。具体的に進めたいと思いますが、どうでしょうか。

○西川道路整備課主幹 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○西川道路整備課主幹 地元が御協力いただけるということでございますので、また、こちらから御連絡をさせていただいて、個別個所につきまして協議させていただきたいと思っています。

○上田委員 上田です。その個別の協議は時期的にはいつ頃になりますか。

○西川道路整備課主幹 協議自体は、お互いにスケジュールが合えばいつでも結構でございます。

○上田委員 上田です。これに関する担当者はどなたになりますか。

○西川道路整備課主幹 担当者は今後また御連絡をさせていただきます。今すぐにはお答えはしかねます。

○上田委員 それでは、なるべく早く担当を決めていただいて、協議を進めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○議長（土井会長） よろしいですか。ほかに無いですか。無いようですので次に進めさせていただきます。

○議長（土井会長） 次に、会議次第4の「その他」であります。ここで、5月の勉強会の時に、委員の皆様からいただいております事前質問について、担当課より説明をいただきたいと思っております。

順次、担当課より説明いただき、全ての説明終了後に、御意見等をお受けしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最初に、特別保育についてお願いします。

○中谷こども園運営課長 こども園運営課中谷でございます。御質問の特別保育につきまして、回答をさせていただきます。

御質問が、特別保育の5項目の事業で513万7千円が予算化されておりますが、その金額の内訳及び内容等に対しましての回答ということでございます。

本市の市立の保育所等では、多様な保育需要に対応するため、特別保育事業というものを行っています。この内、国分寺地区の事業費といたしましては、513万7千円でございます。

まず特別支援保育事業ということで、障がい児保育に関する支援の必要なお子様に対する事業で459万1千円。それから、地域子育て推進事業でございます。この事業は、保育所において在宅のお子様の保護者からの育児相談等を行っているもので、9万8千円。それから、世代間交流事業といたしまして、42万円。障がい児ふれあい事業といたしまして、2万6千円。保育体験事業といたしまして、2千円でございます。主な事業費の内容は、人件費となっております。以上でございます。

○議長（土井会長） よろしいですか。続きまして水道管網の整備についてお願いします。

○香川県広域水道企業団 高松事務所 末澤水道整備課長 水道整備課の末澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

老朽ビニル管の更新につきまして、今年度3,933万8千円が予算化されております。この予算化されております工事につきましては、国分寺町福家地内に埋設されております口径75mmの老朽ビニル管を、口径100mm耐震型ダクタイル鋳鉄管に布設替えを行うものでございます。当該路線は福家地内にある唐渡配水池からの基幹となる配水管でありまして、現在、口径75mm老朽ビニル管が埋設されておりますが、漏水事故等による影響を軽減するとともに団地開発による水需要の増加に対応するため、口径100mm耐震型ダクタイル鋳鉄管への布設替えを行い、管路の耐震化並びに安定給水を図るものです。

発注時期は、第三四半期を予定しております。以上でございます。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 地震などの自然災害が心配ではありますが、これについて心配が無いという判断でいいのでしょうか。

○香川県広域水道企業団 高松事務所 末澤水道整備課長 議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○香川県広域水道企業団 高松事務所 末澤水道整備課長 本市におきましては、耐震型の鋳鉄管への布設替えは、早期から取り組んでおります。既に耐震型への布設替えを行っている区間につきましては、地震等に耐えられるものを採用しておりますので、その区間につきましては心配はありません。以上です。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。続きまして中継ポンプ場管理費についてお願いします。

○神内下水道施設課長 下水道施設課の神内です。御質問の内容は、中継ポンプ場の運転管理費の予算額1,592万8千円の内訳説明とのことです。

平成30年度における国分寺地区の中継ポンプ場の管理予算は1,592万8千円でございます。その内訳としまして、中継ポンプ場1カ所、マンホールポンプ9カ所の運転に必要な動力費約600万円。施設修繕料が約150万円。監視システム等の通信運搬費が約50万円。維持管理委託料が約800万円となっております。以上でございます。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。末澤委員。

○末澤委員 勉強のために教えてほしいんですが、動力費というのはどういうものですか。

○神内下水道施設課長 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○神内下水道施設課長 はい。動力費といいますのは、分かりやすく申しあげますと電力料費でございます。企業会計でございます。法律でそのような費目となっております。

○末澤委員 分かりました。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。他に質問はございませんか。無いようですので、次にJR端岡駅周辺整備事業についてお願いします。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。JR端岡駅周辺整備事業に関しまして、平成30年度予算の詳細設計及び測量業務委託として1,646万円の予算化があり、その内容ということでございます。

本年度予算といたしましては、国道11号線からJR端岡駅へのアクセス道路及び駅南側の駅前広場の整備に関する詳細設計及び測量業務の委託を予算化しているところでございます。

しかしながら先ほどの資料2の対応調書でもありましたように、こうしたアクセス道路の整備にあたりましては、JRの構内施設の調整が重要でありますことから、本年度は交通政策課においてJR端岡駅周辺整備基本構想を策定し、整備の方向性等を取りまとめるとしたところでございます。以上でございます。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。無いようですので、続きまして讃岐国分寺跡資料館の運営・充実として、連携イベントの内容等々についてお願いいたします。

○山本文化財課長補佐 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○山本文化財課長補佐 文化財課の山本でございます。よろしく申し上げます。

讃岐国分寺跡資料館の運営・充実ということで、いくつかご質問をいただいております。

まず讃岐国分寺跡資料館で開催しております連携イベントの内容についてです。本年度計画しております企画展5展のうち、“埋蔵文化財展讃岐国府跡を探る9”では、香川県埋蔵文化財センターと連携し、県が実施した讃岐国府跡探索事業の発掘調査成果を展示・紹介するほか、他の企画展におきましても関連団体の資料館友の会、天平文化倶楽部等と連携し、企画展等を開催してまいりたいと思っております。

また、教育普及事業におきましては、ふるさと文化財探偵団や伝統文化子ども箏教室、歴史講座等を例年開催してございますが、関係団体と連携し継続的に開催したいと思っております。

次に企画展の開催によってどのように集客を図るのかということですが、讃岐国分寺跡は四国で唯一の特別史跡でございまして、讃岐国分寺跡のガイダンス施設という機能を担っております。したがって、讃岐国分寺と関連をいたします古代の遺跡である国分尼寺跡、国府跡、城山、屋嶋城等そういった県内の古代遺跡の最新の調査成果などを重点的に展示などで紹介をいたしまして、施設の機能と合ったメリハリのある展示ということに努めてまいりたいと思っております。

次に施設利用者の推移ということでお尋ねいただいておりますけれども、資料館利用者の過去3年間の総利用者数は、2万2千人から2万3千人です。展示の観覧者につきましては、4千2百人から4千6百人で推移をしております。今後も、展示の企画及び教育普及事業において内容を工夫しながら、なお、利用者増を図れるように努力してまいりたいと考えております。

今後も限られた予算の中で、県の教育委員会であるとか、高松市の埋蔵文化財センター、歴

史資料館、また、友の会、天平文化倶楽部等の関連団体とも協力をいただきながら、費用対効果が最大限になるよう、相乗効果に繋がるような運営を目指してまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（土井会長） はい。よろしいでしょうか。

○上田委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○上田委員 上田です。集客に関して、2万2千人から2万3千人とか、観覧者が4千200人から4千6百人ということですが、これを何年後かに5千人にするなどの目標はお持ちでしょうか。

○山本文化財課長補佐 具体的な目標数値であるとか、何パーセントの増加を目指すとかそういったものは設定しておりませんが、いろいろな広報手段とか展示内容の見直し工夫、そういった対策で利用者の拡大に繋げていきたいと思っております。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。続きまして特産品の情報発信イベントの開催についてお願いします。

○十河農林水産課長 農林水産課の十河でございます。よろしく申し上げます。特産品の情報発信イベントの開催での、盆栽業者の後継者不足についての取組についてであります。

本市では、昨年策定した高松盆栽の郷基本構想において、国分寺・鬼無の両地区を一体的に高松盆栽の郷として位置付け、国内需要や輸出の拡大、産地基盤の強化を合わせた総合的な盆栽振興策に取り組んでいるところでございます。

特に、国分寺地区におきましては、盆栽生産者の高齢化による後継者不足が課題でありますことから、盆栽生産者が中心となって宿泊・研修機能を持つ施設を整備し、研修を通して後継者の確保と育成を図る取組に支援することとしております。

また、後継者を確保するには、収益性が高く、魅力ある農業を目指す必要があるため、需要拡大への取組のほか輸出促進を図るなど、盆栽振興に向けて総合的に取り組んでまいりたいと存じます。以上でございます。

○上田委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○上田委員 地域の特産品というのは、各市町とも力を入れていると思いますが、地域の盆栽業者と話をしていると後継ぎがないという悩みをよく耳にします。どういう支援をしているのか、また、しようとしているのか、具体的にお願いします。

○岡中農林水産課長補佐 農林水産課の岡中でございます。先程申しあげました後継者の育成ということでは、宿泊及び研修ができる施設を考えております。また、その施設を利用して、盆栽に興味がある人を集い、研修していただき、それに伴うパンフレットとか教材をこれから作製し活用をしていきたいと考えております。また、農家の産業として成り立っていないと盆栽産業が衰退してしまうことから、輸出の促進などでの需要の拡大を図っていくことを考えております。

○上田委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、どうぞ。

○上田委員 なにか業者まかせという感じを受けてしまいますが、行政としてももう少し力を入れていけないかなという気がします。これからも少し頑張っていたきたいなと思っております。

○岡中農林水産課長補佐 ありがとうございます。行政も盆栽生産者と密に協議を行いながら進めております。行政として行うことまた、盆栽生産者として行わないといけないこと、その辺りを見極めながら、お互いに力を出し合って盆栽振興に努めてまいりたいと思っております。以上です。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、末澤委員。

○末澤委員 回答に宿泊施設を整備するとありますが、簡単にできるのでしょうか。むしろ、県も市も力を入れていることから、県の青年センターという宿泊施設が国分寺町にはあります。この国分寺町にある施設を使って宿泊研修を行うことで、国分寺町の名が売れると思うし、また、後継者の方々も明るい気持ちになれるような気がします。

施設を整備するというのは、言うが易く行うは難しと思いますが、これはどのように解釈したらよろしいでしょうか。

私の提案は、国分寺も鬼無もいいと思うんですが、どこか整備する場所なりを考えているのでしょうか。

○岡中農林水産課長補佐 研修施設ですが、数名程度が宿泊し、体験できる施設を考えておまして、大きな施設は考えていない状況です。また、場所につきましても盆栽生産者が設置することに対して支援を行うということを考えておりますので、民間の土地を活用しての設置を考えているところでございます。また、青年センターの利用につきましては、その必要がある

場合に検討してまいりたいと考えております。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。

○議長（土井会長） 続きまして国分寺町まつりの開催について7番と8番は関連がありますので、まとめて説明をお願いします。

○黒田観光交流課長 観光交流課の黒田でございます。よろしくお願いします。

まず7番の国分寺町まつりの開催についての継続の見通しということでございます。

今後におきましても国分寺地区の地域振興に資するために、事業主体であります実行委員会におきまして、継続的に実施されるものと考えております。

8番の国分寺町まつりと冬のまつりの開催における補助金の見通しについてでございますが、両まつりにつきましては、国分寺町の地域振興のみならず、交流促進など、様々な役割を担っているものと捉えております。しかしながら、昨今の外部監査等からの補助金の在り方への指摘も踏まえまして、他のイベント関係の補助金との兼ね合いや本市の財政状況を踏まえながら、対応してまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（土井会長） ありがとうございます。提案者の方、御質問等ございましたらお願いします。

○豊嶋委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、豊嶋委員。

○豊嶋委員 豊嶋です。要望になってしまいますが、町まつり及び冬のまつりともに地域の中学生などが清掃活動や駐車場のライン引き、また当日の運営スタッフと設営等を行う、ボランティアスタッフとして活動を行ってくれています。これはかなりのウェイトを占めていまして、重要な社会貢献活動の場になっているということから、中学校からも積極的に協力をいただいております。

また、冬のまつりでは、イベントの委託業者を入れずに全てが手作りのまつりとして運営しておりまして、行政、学校関係、地元各種団体などの方々の御協力により、10年以上掛けて作り上げてきたイベントであり、ボランティアの運営で極限まで節約をしながら、お金を掛けずに一生懸命になって開催してきています。そういった中で、毎年補助金がカットされ続けていまして、運営側として開催において困難な状況にあります。

まつり当日は、地元の老人クラブや婦人団体といった、高齢な方たちもスタッフとしてたくさん参加いただいております。現在、高松市も居場所づくりへの取組みとして、高齢者や子どもたちの居場所を提供していると思いますが、このまつりは年1回の開催で、年間での継続性

はありませんが、その年に1回の開催を楽しみに参加いただいているスタッフも大勢います。暑い時期、寒い時期のまつりで申し訳ないなと思う中で、終わった後にしんどいけど参加できて良かった。来年も来たいなと言っていたようなイベントです。他のイベントとの兼ね合いとかがあるのは分かりますが、もう少し中身を御考慮頂いて、検討をお願いしたいですし、減額ではなく願わくば増額を希望したいぐらいですが、これ以上の減額にならないよう御配慮をお願いいたします。

○黒田観光交流課長 御意見ありがとうございます。基本的にイベントの補助金は、そのイベントの中でどのような目的があって行っているか、例えば観光振興、地域間交流、教育の醸成であるとか様々な用途があると思います。市といたしましてはできる限り、地域貢献とか地域おこしになるようなものにつきましては、人的支援も含めて補助金を継続して行ってきたところではあります。

そもそもの補助金という観点から言いますと、運営資金の一部を補助するということになります。本来は、立上げ時に補助金を出していたのが、段々と自主運営ができるようになり、補助金は下がっていくというのが通常のことになりますが、できる限り支援は続けてきました。

今、お話がありましたような内容も踏まえて、今後も継続されるということであれば、できるだけ市も側面的支援ができるように補助金は確保していきたいと考えております。ただ、減額しないようにしてほしいという意見に対しまして、確約はいたしかねますが、自主運営の中で収益を上げられるような事業を実行委員会の中で御検討いただきたいと思います。

○豊嶋委員 豊嶋です。収益という言葉がありましたが、私どもでは、寄付金を募って頑張って集めていまして、冬のまつりでは雪の搬送に募金を募ったりしていますが、なかなか集まらないのが現実です。そこで案として出ているのが、両まつりとも入場料を取らずに無料で行っているのを、来場者が多いので、少額でも入場料をいただくことで、まつりの運営に役立てていくのはどうかという意見もあります。

そのような内容で収益を上げていくのは可能なことでしょうか。

○黒田観光交流課長 やり方次第だとは思いますが、来場していただく方にお金を使ってもらう方法は、例えばバザーでの飲食とかで使ってもらうのは可能だと思いますが、来ていただくだけで入場料をいただくというのは、敬遠されがちになるのではないかと懸念がありますので、十分な検討が必要だと思います。

やはり大きなイベントで、多くの人が集まれば、例えば民間の企業、メーカーが出店して自社製品のPRすることで出店料をいただくとか、その広報のための手数料をいただくとかとい

うのが一番早い方法ではありますが、それはセールスをしていかないといけないという難しいところはありますが、この方面も視野に入れて考えていくというのも一つの方策だと思います。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。ほかに無いでしょうか。それでは皆様方からいただきました1から8までの質問についての説明が終わりましたが、これに関連しての御意見等がございましたら、お願いいたします。

ありませんか。無いようですのでこれで8項目についての質問について終了をさせていただきます。他に、地域審議会で何か諮りたいことがございましたら、御発言をお願いいたします。

○塩崎委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、塩崎委員。

○塩崎委員 塩崎です。最近コンパクトシティの事がよく出てきますが、地元国分寺町区域は誘導区域外になりますので、開発の許可が下りにくくなるのではないかと思います。

全国でもコンパクトシティとして行っているところが多くあると思いますが、私の知っている限りでは一つも成功した例が無いように思います。それでも開発に規制を掛けていくことをお考えでしょうか。

○前田建築指導課長補佐 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○前田建築指導課長補佐 建築指導課の前田でございます。高松市は特殊性がありまして、全国では線引きがありますけれども、高松市は線引きを平成16年度に廃止をしております。その関係で、旧用途地域の縁辺部の周りにおいて急激な宅地開発が進み、その結果として、大雨時に脆弱な水路に多量の雨が流れ込み逸水がおきたり、一部では急激な人口の増加により学校等の増築が必要になったりと、高松市としては、インフラ整備が間に合わない今の状態から、これ以上広がらないための規制でございまして、全国のコンパクトエコシティとは規制の考え方が違います。他のエコシティは旧用途地域の範囲をさらに狭めようとするものでございます。

○中川都市整備局次長 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、お願いします。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川でございます。コンパクトエコシティは元々マスタープランに平成20年頃に掲げて、段々と拠点に集約を図っていこうという理念がございました。そうした中、今年の3月に検討を進めてまいりました立地適正化計画。さらにそれを後押しするような計画を市として決めたところですので。その中に都市機能を誘導する区域と居住を誘導していこうとする区域を定めたところでございまして、国分寺地区で言えば従来の用途地域

の中に居住を誘導していこうという理念でございます。誘導と共に乱開発を防止する意味での開発の規制方策も連動して行う必要があることから、実施について考えているところでございます。

全国的にも市民の方々に御理解をいただかないと難しいことは承知しておりますが、30年、50年先を見据えて、高松の持続可能な街づくりを進めていかなければならないと考えております。

○議長（土井会長） はい。塩崎委員。

○塩崎委員 計画としては、理想論ですごく良いことばかりのようなんですよ。でも、現実にはそのようなことは起きないと思うんです。例えば、今、国分寺に家があるのにそれを売って、高松の中心部に移るかというのと、それはしないと思います。それと農地の確保ということを言われていますが、農家の現実、子どもたちは仕事をしていて、農業をする人がほとんどいない状態であり、なおかつ高齢で、農作業を止めたい人が多くいます。止めてしまうと荒地になるために、農地を早めに手放したいと思う人が多くいるのに、規制を掛けられることで手放すことが出来なくなるというのは、本当に困ることになると思います。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川です。先ほど申しあげましたように、決して皆さんに高松市中心部に集まってほしいということではなく、国分寺地区も概ね用途地域ではありますので、居住していただけるようにはなっております。こうした地域の核となる部分がこの辺りということになります。また、農業の問題ですが、後継者がいなくて耕作放棄地となりかねない。そうなるなら土地を手放したいと考えるような問題もありますが、農業施策及び都市計画施策共々慎重に考えていく必要があることだと思っております。

○議長（土井会長） はい。塩崎委員。

○塩崎委員 憲法でも第22条で住居、移転、職業の選択の自由が認められているので、規制を掛けられるのは、どうも納得がいかないです。規制を掛けないでどうにかならないのかなと思います。

○中川都市整備局次長 都市計画課の中川です。確かに誘導の施策は非常に重要だと思っております。開発で細い道に繋がって、結果的に狭い道路での交通安全性の低下であったり、大雨の際に多量の水により浸水するようなどころも様々なところで見受けられております。元々住まわれている市民の生活の安全性等の観点、そうしたことも含めて市としても必要な規制は講じなければならぬのかなと感じております。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。他にございませんか。

○末澤委員 はい。議長。

○議長（土井会長） はい、末澤委員。

○末澤委員 末澤です。中学校の体育館の第2体育館ですが、東側正面の階段が急であり長いので、2段階の階段に出来ないかという意見がありました。また、東側の体育館の街灯が夜の早い段階で消えるのを、少なくとも夜10時頃まで点灯してもらえないでしょうか、どうでしょうか。

○上原教育局総務課長補佐 はい。議長。

○議長（土井会長） はい。お願いします。

○上原教育局総務課長補佐 教育局総務課の上原でございます。中学校の第2体育館につきましては、本日の帰りに確認をさせていただきたいと思います。体育館ですので、階段等が当時の建築基準法の規定に合わせて計画、建築されていると思いますので、その辺りも考慮しながら、持ち帰って検討した上で回答させていただきたいと思います。

○議長（土井会長） よろしいでしょうか。他にございませんか。

○議長（土井会長） 事務局から何かお伝えすることはありますか。

○吉井センター長 特にございません。

○議長（土井会長） 特に無いようですので、以上で、本日の会議日程はすべて終了いたしました。御協力をいただきましてありがとうございますございました。また、オブザーバーのお二人、高松市当局の皆様方につきましては御丁寧な説明をいただきましてありがとうございますございました。

今後ともよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

午後3時32分 閉会

---

会議録署名委員

委員

佐々木正明

委員

落合恭仁子